

ABOUT

六本木アートカレッジについて

六本木アートカレッジは、「自分にとっての『アート』とは何か?」を感じ・考え、自分なりのこだわりのあるライフスタイルを確立することを目的に2011年にスタートしました。ファインアート以外にも、音楽、ファッション、デザイン、伝統芸能、その他様々なジャンルから情報発信をしています。1日に複数講座を開催する学校形式の1DAYイベントの他、六本木アートカレッジ・セミナーを年間通じて開催し、これまでに7,000名以上が参加する人気シリーズです。

Q 六本木アートカレッジ 検索

過去のイベントレポートを特設サイトで公開中



2019年9月開催セミナー (深澤直人氏×山口周氏)



2019-2020年 シリーズディレクター

山口 周

(独立研究者/作家/パブリックスピーカー)

1970年東京都生まれ。独立研究者、作家、パブリックスピーカー。電通、BCGなどで戦略策定、文化政策、組織開発等に従事。著書に『世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか?』『武器になる哲学』など。慶應義塾大学文学部哲学科、同大学院文学研究科修士課程修了。

▶ 六本木アートカレッジ お申込み方法

ホームページからの事前申込みが必要となります。
※お電話およびメールでのお申込みは一切受け付けておりません。ご了承ください。

▶ お問い合わせ先

森ビル株式会社 アカデミーヒルズ ライブラリー事務局
電話: 03-6406-6650 (受付時間 平日10:00~18:00)
Email: library@academyhills.com

※情報は2020年1月現在のものであり、予告なく変更する場合がございます。
詳細はアカデミーヒルズのホームページをご覧ください。

【森美術館 展覧会情報】

FUTURE AND THE ARTS
AI, ROBOTICS, CITIES, LIFE
HOW HUMANITY WILL LIVE TOMORROW

エコ・ロジック・スタジオ (H.O.R.T.U.S. XL アスタキサンチン g)
ecoLogicStudio H.O.R.T.U.S. XL Astaxanthin.g 2019 © NAARO

未来と芸術展

2019.11.19 (火) - 2020.3.29 (日)

森美術館 MORI ART MUSEUM

AI、ロボット、都市、生命 人は明日どう生きるのか

同時開催 MAMコレクション011: 横溝 静+松川朋奈—私たちが生きる、それぞれの時間
Also on View MAM Collection 011: Yokomizo Shizuka + Matsukawa Tomona - The Personal Time We Are Living

www.mori.art.museum

六本木 ROPPONGI ART COLLEGE アートカレッジ

From Useful
“役に立つ”から

”
意味があるへ
To Meaningful



SPECIAL 1 DAY

1日限りのスペシャルトークイベント

2020.3.20 [金・祝]

12:00~17:00

(交流パーティ 17:20-18:20)

日程 — 2020年3月20日 (金・祝) 12:00-17:00 (交流パーティ: 17:20-18:20)

会場 — アカデミーヒルズ (六本木ヒルズ森タワー49階)

参加費 — 1日券4,000円 (税別) ※交流パーティ付き5,500円 (税別)

定員 — 600名 (交流パーティ付き200名)

講座数 — 全10講座

主催 — アカデミーヒルズ

協賛 — 株式会社大林組 / 株式会社ディスカヴァー・トゥエンティワン

協力 — 株式会社NTTドコモ / 森美術館

Facebook 六本木アートカレッジ

Twitter @academyhills #六本木アートカレッジ

Instagram @academyhills_ #六本木アートカレッジ



12:00 - 13:00

A会場

【オープニングトーク】

ヒューマニティに対する洞察から
「意味」を紐解く



山極寿一
京都大学総長



山口周

独立研究者／作家／パブリックスピーカー

「意味」を考える上で、「ヒューマニティに対する洞察」が大切だと説く山口氏。ゴリラ研究の第一人者、山極氏の長年のフィールドワークから得られた知見を踏まえ、人間にとって「意味」とは何かを探ります。

13:20 - 14:20

A会場

孤独を癒す？愛情を育む？
ロボットの新しい使い方



吉藤オリイ 株式会社オリイ研究所 代表取締役所長
林 要 GROOVE X 株式会社 代表取締役
正能茉優 株式会社ハピキRAFACTORY 代表取締役

孤独の解消を目指す分身ロボット「オリヒメ」を開発した吉藤氏。人の愛する力を育む家族型ロボット「LOVOT」を開発した林氏。ロボットの分野で「役に立つ」から「意味がある」への転換を図るお二人から、正能氏がお話を引き出します。

【Discover 21 presents】

問いの技法



ヨシタケシンスケ 絵本作家
梶谷真司 東京大学大学院 総合文化研究科 教授

問うことで意味が見つかり、それが創造的な思考に繋がります。固定観念から抜け出し、何気ない日常から新たな視点を得る「問いかけ」の達人のお二人が、「問うこと」によって意味を見つけ出す方法について対話します。

【森美術館 presents】

彼女たちの日常を表現するということ



松川朋奈
アーティスト

女性たちへのインタビューをもとに彼女たちの日常を写実的な絵画で表現するアーティスト、松川氏。作品を通して寄り添う女性たちの「人生を通じて見えてくる意味」をキーワードにお話いただきます。

日本の食文化の歴史を振り返り、
日々の食生活に「意味」を見出す



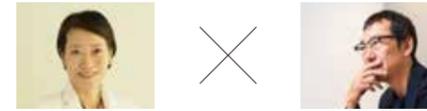
畑中三応子
食文化研究者／編集者

日本の食文化の歴史と特徴を振り返り、日本人の食に対する価値観がどのように形成されたのかをお話いただきます。栄養素を取り込む「役に立つ」側面を超えて、私たちの日々の食事に「意味」を見出します。

14:40 - 15:40

A会場

伝統産業の新たな価値



堀木エリ子 堀木エリ子&アソシエイツ代表／和紙作家
山口周 独立研究者／作家／パブリックスピーカー

和紙を使った革新的な空間を演出する作家として世界で注目される堀木氏に、和紙を現代に意味づけること、そしてこれからの日本にとって伝統工芸が持つ意味についてお話いただきます。

【ArtScouter presents】

脳は美をどう感じるのか？
「感性」を科学する



GOMA デジタルドゥ奏者／画家
川畑秀明 慶應義塾大学文学部教授

芸術や美に関する感性研究を行う川畑教授と、交通事故で脳に損傷を負った直後から緻密な点描画を描き始めたアーティストのGOMA氏とのトークから、脳と感性の関係について科学的視点から考えます。

「自分時間」を意味づける！



飛鷹全法
高野山 高祖院住職

「時間」は全ての人々が得られる大切な資産。だからこそ、使い方に個性があらわれ、人生に違いを生み出します。当たり前のようにある「時間」について、飛鷹氏にお話いただきます。

ライブ・ペインティングで
アーティストの思考プロセスを理解しよう



長谷川雅彬
アーティスト／作家

世界で活躍するアーティストの長谷川氏が作品を創作する上での思考プロセスを解説！その場でライブ・ペインティングを行い、実際に作品という形になる過程も見ること参加者はロジックと体感を通して理解します。

16:00 - 17:00

A会場

【クロージングトーク】

「カッコいい」を考えることで、
個人の美意識が見えてくる



平野啓一郎
小説家



山口周

独立研究者／作家／パブリックスピーカー

『「カッコいい」とは何か』で近年の日本文化に影響を与えた「カッコいい」について考察する小説家の平野氏に、個人の美意識やアイデンティティ、意味が持つ力、などについてお話いただきます。

17:20 - 18:20

カフェ

Party

森タワー49階のライブラリーカフェで開催する200名限定の交流パーティ。参加者や、ゲストの方々と1日の感想から会話はスタート！是非、1日の終わりの「締め」としてご参加ください。
※交流パーティ参加の場合、参加費は5,500円(税別)になります。